

> **2024年3月期  
決算説明資料〔IFRS〕**  
 (2023年4月 – 2024年3月)

**株式会社 LIXIL**  
 2024年4月30日

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

> **2016年3月期よりIFRSに移行しています  
各段階利益の名称の違いは以下の通りです**

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	<b>継続事業</b>
売上高	<b>売上収益</b>
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
<b>営業利益</b>	<b>事業利益（CE）</b>
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	<b>税引前利益</b>
	継続事業からの当期利益
	<b>非継続事業</b>
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益 ←
非支配持分に帰属する当期利益	<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

## 〉本日のポイント

### 2024年3月期 業績の総括

#### 2024年3月期 4Q実績 前年同期比、減収減益

- ・ 国内は、LHTの窓リフォーム補助金が端境期となった影響と、新築着工数の更なる減少があり、予想以上に低調
- ・ 海外（LWT）での需要低迷は底打ちするも、業績低調は継続
- ・ 海外での構造改革は予想以上に早期に着手し「その他費用」として計上増加

#### 2024年3月期 通期実績 前年同期比、減収減益

- ・ 日本：新築着工数は当初計画比大きく減少。特に当社が得意とする持家・分譲ともに大きく減少するも、窓リフォーム向け売上の伸長により業績を下支え
- ・ 海外：金利の高止まりとインフレ長期化による欧米市場の住宅関連商品の需要低迷により、FYE2024を通じて低調に推移。顧客側における在庫レベルは減少しているものの、需要回復には至らず
- ・ 海外：欧米の構造改革について、予定以上に早期に着手（詳細後述）

---

LIXIL

2

## 〉本日のポイント

### 2025年3月期 通期予想

#### 2025年3月期 通期業績予想

- ・ 売上収益15,700億円、事業利益350億円を予想
- ・ 年間配当金は一株あたり90円を予想

#### 足元の事業環境と見通し

- ・ 日本における新築着工数は当面弱めと予測するも、LHT事業における断熱リフォーム向け需要は補助金増額効果もあり、利益への貢献を見込む
- ・ LWT国内事業は激化していた競合環境も平準化へ。遅れているリフォーム対応の加速と差別化された新商品を投入予定
- ・ LWT海外事業の不振要因である金利環境は年内の改善を見込むが、FYE2025需要は前期並みを予測。ただし、FYE2024に実施した構造改革による収益改善を見込む
- ・ 海外事業での構造改革は、FYE2025も一部継続。主要な施策はFYE2025中に完了予定（生産設備における最適化は、来期以降も継続実施）

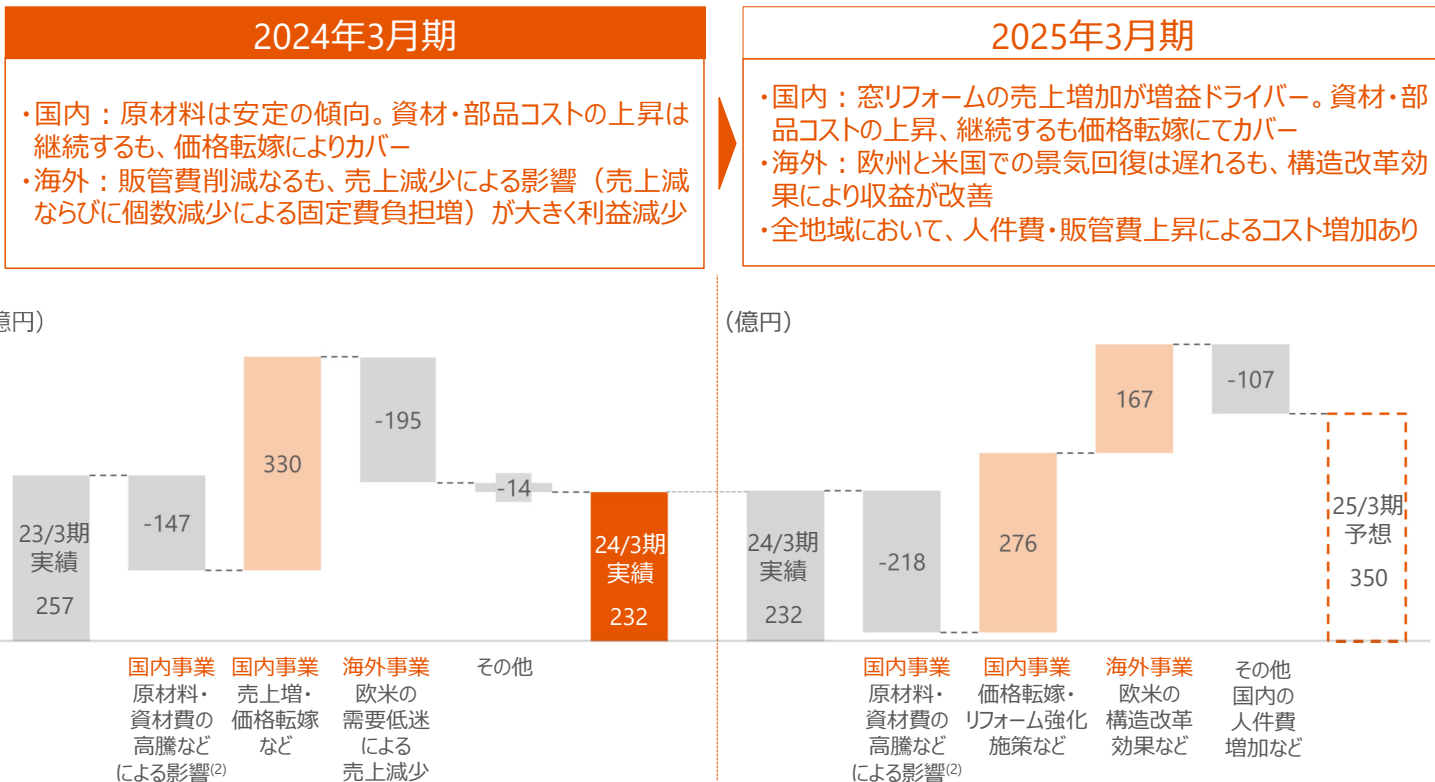
---

LIXIL

3

# 本日のポイント

## 2024年3月期 事業利益実績・2025年3月期見通しについて<sup>(1)</sup>

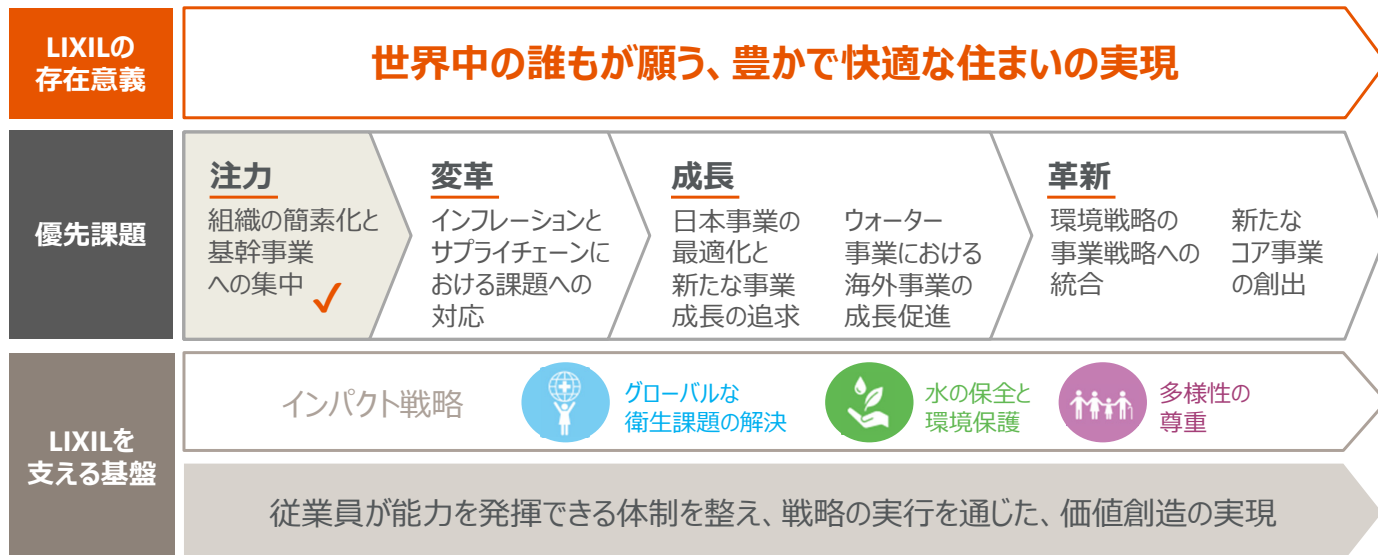


LIXIL (1) セグメント別の数値は（24/3期 実績値） p.29・30、（25/3期 予想値） p.34に掲載  
 (2) 為替影響を含む

## LIXIL PLAYBOOKにおける施策の進捗（1）

### 経営の基本的方向性<sup>(1)(2)</sup> – LIXIL Playbookにて示した優先課題への注力

- 持続的成長のできる経営への変革と起業家精神にあふれた組織カルチャーの醸成
- 投下資本収益率（ROIC）10%以上を目指す
- 事業利益率を改善し、7.5%を達成。中長期的には、10%の達成を目指す
- Net有利子負債/EBITDA 3.5x以下を維持し、中長期的な成長を支える安定的な基盤とする
- 自社の持続的成長と、社会へのインパクト創出の両立を目指す



## ➤ LIXIL PLAYBOOKにおける施策の進捗（2）

### 経営の基本的方向性 – LIXIL Playbookにて示した優先課題への注力



- 海外事業の構造改革は、FYE2025にて概ね終了（主にサプライチェーンの再構築）
- FYE2024実施分は今期より効果発現の計画

#### 構造改革

- ✓ **人員配置の最適化**  
欧米を中心に実施済み
- ✓ **サプライチェーンの再構築**  
アジア地域での一部工場の整理  
FYE2025にも継続実施予定
- ✓ **事業ポートフォリオの最適化**  
不採算事業やシナジー効果の  
見込めない事業を中心に実施済

	FYE2024	FYE2025	FYE2025
	費用 <sup>(1)</sup>	効果	費用
人員配置の最適化			
人員配置の最適化	40	30	
サプライチェーンの再構築			
海外工場の統廃合	25	10	65
事業ポートフォリオの最適化			
Decorative Panels解散	55	20	
合計	120	60	

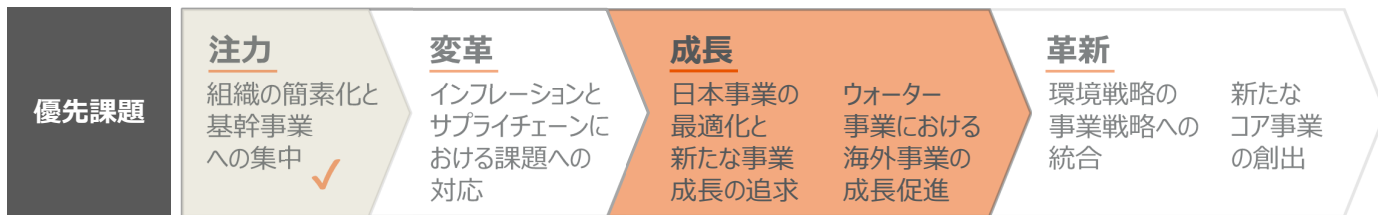
(計画値)

LIXIL (1) 構造改革費用のうち、その他費用・収益として計上された項目

6

## ➤ LIXIL PLAYBOOKにおける施策の進捗（3）

### 経営の基本的方向性 – LIXIL Playbookにて示した優先課題への注力



- 国内：AIに代表されるデジタル化に注力、また国内開発リソースを海外市場に展開
- 海外：水栓金具（特に米国での展開加速）、Flushing System（中東）に注力
- 成長市場の需要取り込みや、潜在市場へのアプローチにより、ポートフォリオの安定化を目指す

#### 国内ウォーター事業の成長追求

- ✓ 国内の水まわり・タイル事業  
100周年<sup>(1)</sup>を契機に新商品の  
展開加速
- ✓ 革新的な技術や知見を礎  
に、2024年に「SATIS X」を  
新発売<sup>(2)</sup>

➤ 詳細はトピックス p.40



#### 海外事業の成長促進

- ✓ GROHEのプレミアム・サブ  
ブランド「GROHE SPA」の  
展開本格化
- ✓ 唯一無二のオーダーメイド  
デザイン、高級素材、最新  
カラーでブランド力を訴求



LIXIL (1) ニュースリリース<https://newsroom.lixil.com/ja/2024010904>  
(2) ニュースリリース<https://newsroom.lixil.com/ja/2024030601>

7

## 社会および環境にインパクトを与える新商品の拡販

- 差別化商品の拡大による当社の持続的成長と、社会へのインパクト創出の同時実現を目指す
- 下記商品は既に開発を完了、差別化価格で市場にどこまで浸透できるかが「鍵」

<p>CO<sub>2</sub>削減に貢献 / 資源の循環利用を促進</p> <p>低炭素型アルミ型材<b>プレミア</b> (PremiAL)<sup>(1)</sup>の拡販</p>  <p>中長期的な 売上目標 <b>3,000億円</b></p>	<p>コア技術による新たな価値創出</p> <p>泡シャワー「<b>KINUAMI</b>」<sup>(2)</sup>の展開 日本は介護向け、海外は一般向けに</p>  <p>中長期的な 売上目標 <b>数百億円</b></p>	<p>コア技術による新たな価値創出</p> <p>「<b>GROHE Blue</b>」「<b>Greentap</b>」<sup>(3)</sup>による 新たな価値提供とプラスチック使用・ 物流費等削減による環境への貢献</p>  <p>中長期的な 売上目標 <b>数百億円</b></p>
<p>CO<sub>2</sub>削減に貢献 / 資源の循環利用を促進</p> <p>廃プラスチックと廃木材を融合した 循環型素材「<b>レビア</b>」<sup>(4)</sup>の拡販</p>  <p>中長期的な 売上目標 <b>1,000億円</b></p>	<p>コア技術による新たな価値創出</p> <p>全てのシャワートイレに<b>2本ノズル</b>を搭載、 女性特有の健康課題軽減に貢献</p>  <p>中長期的な 売上目標 <b>500億円</b></p>	<p>CO<sub>2</sub>削減に貢献</p> <p>サッシ、ドア、外壁等の<b>断熱リフォーム</b> 向け販売増によるCO<sub>2</sub>削減への貢献</p>  <p>中長期的な 売上目標 <b>800億円</b></p>

今後、Everstream Shower、三価クロム対応水栓、Re-invented Toilet<sup>(5)</sup>、  
浴槽の環境対応商品などを販売予定

LIXIL

(1) ニュースリリース[https://newsroom.lixil.com/ja/20230906\\_01](https://newsroom.lixil.com/ja/20230906_01)  
(2) ニュースリリース[https://newsroom.lixil.com/ja/20230915\\_01](https://newsroom.lixil.com/ja/20230915_01)  
(3) ニュースリリース<https://newsroom.lixil.com/ja/2024032801>

(4) ニュースリリース<https://newsroom.lixil.com/ja/2022101802>  
(5) ニュースリリース[https://newsroom.lixil.com/ja/20240321\\_g2rt](https://newsroom.lixil.com/ja/20240321_g2rt)

8

## 2024年3月期 決算ハイライト

### 前年同期比で減収減益

#### ■ 売上収益 14,832億円、前年同期比 128億円減

- 4Q3カ月（増減率）：国内 -4%、海外 -4%（為替影響除く、-14%）
- 通期（増減率）：国内 0%、海外 -4%（為替影響除く、-12%）

#### ■ 事業利益 232億円、前年同期比 26億円減

（事業利益内訳）

- 4Q3カ月：
  - LWT国内 25億円、LWT海外 5億円、LHT 30億円、連結調整/他 -95億円
- 通期：
  - LWT国内 209億円、LWT海外 18億円、LHT 359億円、連結調整/他 -354億円

#### ■ 最終利益<sup>(1)</sup> -139億円、前年同期比 299億円減

- 主として、構造改革費用の増加や金利上昇による金融費用の増加、収益性の一時的な悪化による税金費用の増加により前年同期比299億円減少

LIXIL

(1) 最終利益=親会社の所有者に帰属する利益

9

## 2024年3月期 連結業績結果

(億円)	通期				第4四半期 3ヵ月		
	23/3期	24/3期	前年同期比	%	24/3期	前年同期比	%
売上収益	14,960	14,832	-128	-0.9%	3,603	-119	-3.2%
売上総利益	4,686	4,727	+41	+0.9%	1,104	-57	-4.9%
(%)	31.3%	31.9%	+0.5pt	-	30.7%	-0.6pt	-
販管費	4,429	4,496	+67	+1.5%	1,139	+25	+2.2%
事業利益 <sup>(1)</sup>	257	232	-26	-10.0%	-35	-82	-
(%)	1.7%	1.6%	-0.2pt	-	-1.0%	-2.2pt	-
非継続事業を含む最終利益 <sup>(2)</sup>	160	-139	-299	-	-207	-257	-
EPS (円)	55.54	-48.43	-103.97	-	-72.05	-89.37	-
EBITDA <sup>(3)</sup>	1,076	1,045	-32	-2.9%	175	-76	-30.2%
(%)	7.2%	7.0%	-0.2pt	-	4.9%	-1.9pt	-

- 売上総利益率：前年同期比0.5pt良化
- 販管費：為替影響を主因に前年同期比67億円の増加  
(日本-24億円、海外-34億円、為替換算影響+125億円)。販管費率は、0.7pt悪化
- 事業利益率：前年同期比0.2pt悪化

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当  
(2) 親会社の所有者に帰属する利益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

10

## 2024年3月期 業績概況

売上収益は、日本事業においては横ばいなるも、海外事業の需要低迷により減収。事業利益に関しては、LHT事業にて価格改定効果・窓リフォーム向け補助金効果あり増益なるも、LWT事業の海外において需要低迷影響大きく、減益

(億円)		通期			第4四半期 3ヵ月	
		23/3期	24/3期	前年同期比	24/3期	前年同期比
LWT	売上収益	9,153	8,969	-184	2,285	-36
	事業利益	473	227	-245	30	-82
LHT	売上収益	5,982	5,964	-18	1,339	-100
	事業利益	194	359	+165	30	-9
全社/ 連結調整	売上収益	-175	-101	+74	-21	+17
	事業利益	-409	-354	+54	-95	+9
合計	売上収益	14,960	14,832	-128	3,603	-119
	事業利益	257	232	-26	-34	-82

通期 組替影響<sup>(1)</sup>

LWT：売上収益 0億円、事業利益 -22億円  
LHT：売上収益 -74億円、事業利益 +22億円  
連結調整：売上収益 +74億円、事業利益 0億円

為替影響<sup>(2)</sup>

通期：売上収益 +427億円、事業利益 +26億円  
4Q3ヵ月：売上収益 +147億円、事業利益 +9億円

LIXIL

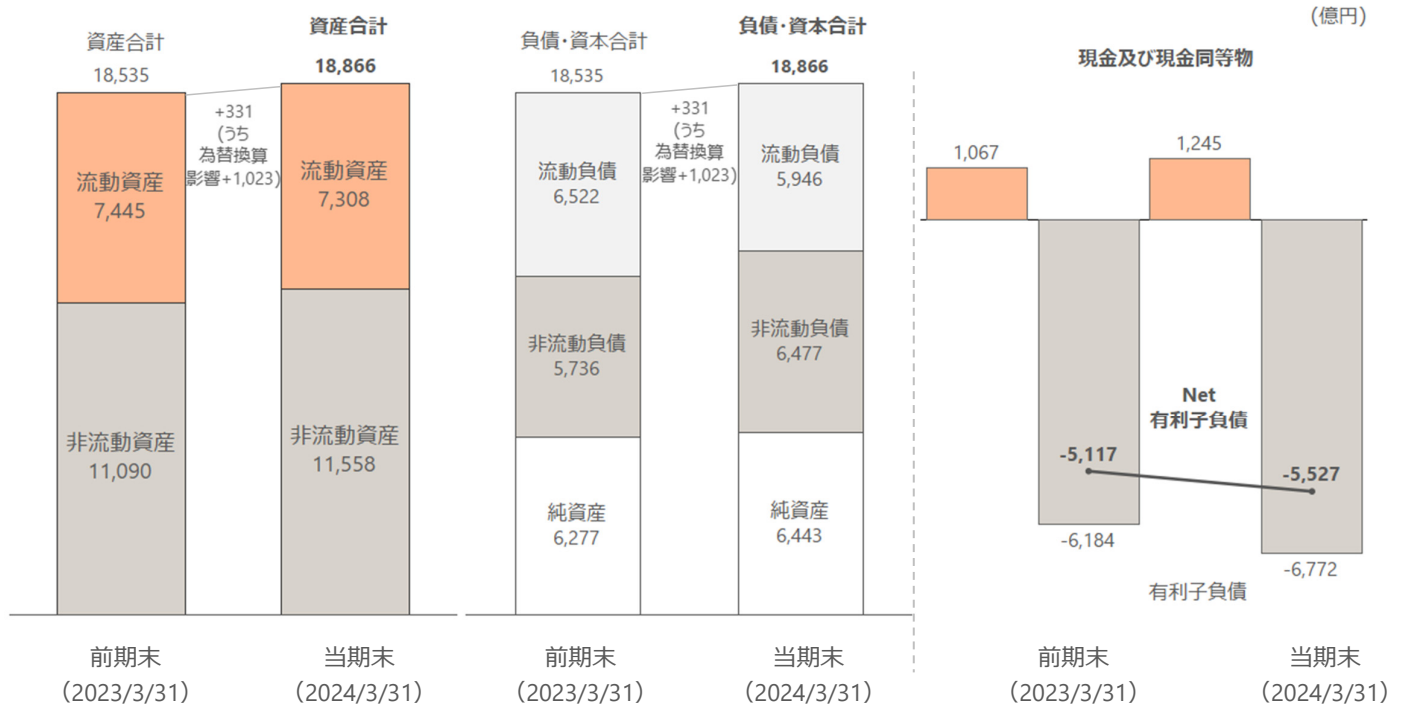
(1) 従来LHTのみに帰属していた海外子会社の損益を、管理体系を見直し、LWTへの組替えを24/3期より実施。これにより同社の報告セグメントをLWTとLHTに変更  
(2) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

11

## 連結財政状態

為替換算影響大きく、総資産は微増<sup>(1)</sup>。

Net有利子負債は運転資本増加により前期末比増加なるも、直前四半期比で185億円減少。自己資本比率は、34.1%

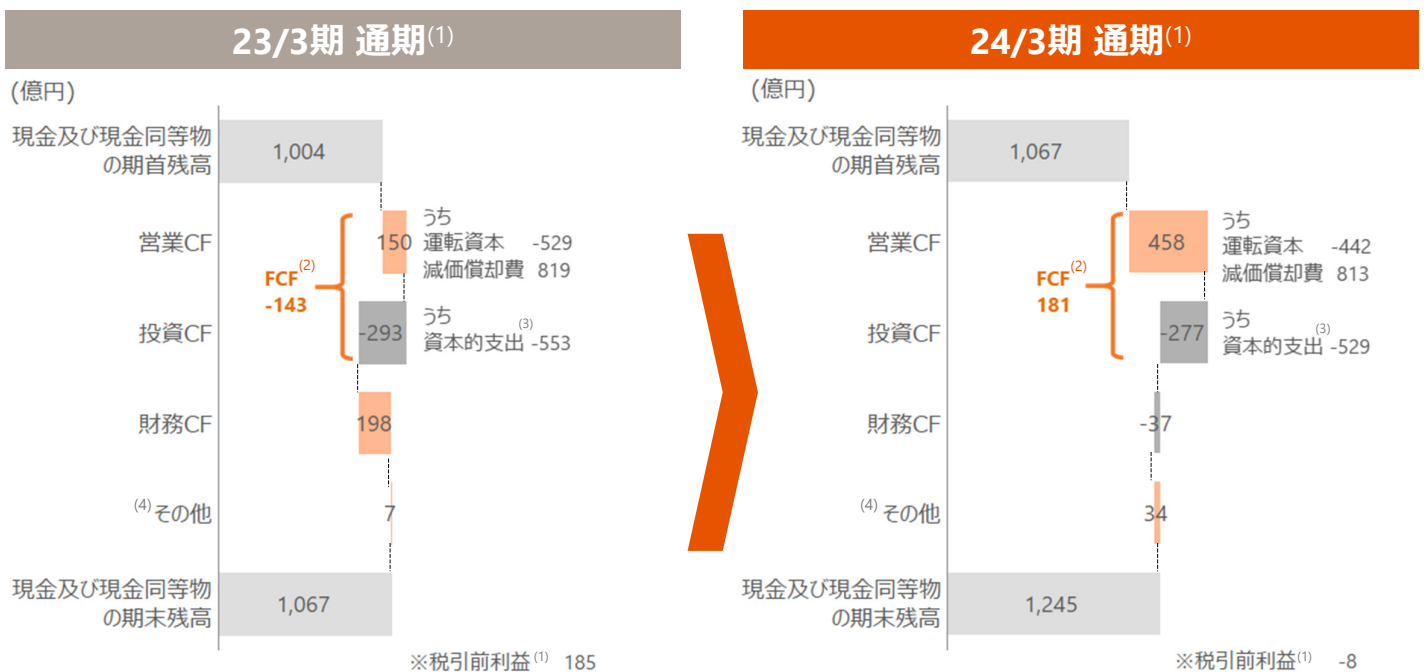


LIXIL (1) 為替影響を除く総資産減少額692億円のうち、棚卸資産の減少が440億円

12

## キャッシュフローの状況及び現金残高

棚卸資産削減の進捗により、営業キャッシュフローは大幅改善、フリーキャッシュフローもプラスに転じ、前年同期比で324億円改善



LIXIL (1) 非継続事業を含む  
(2) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

(3) 資本的支出=有形資産の取得+無形資産の取得 (IFRS16 リースによる使用权資産の取得を除く)

(4) 「その他」 = 為替換算影響額

13

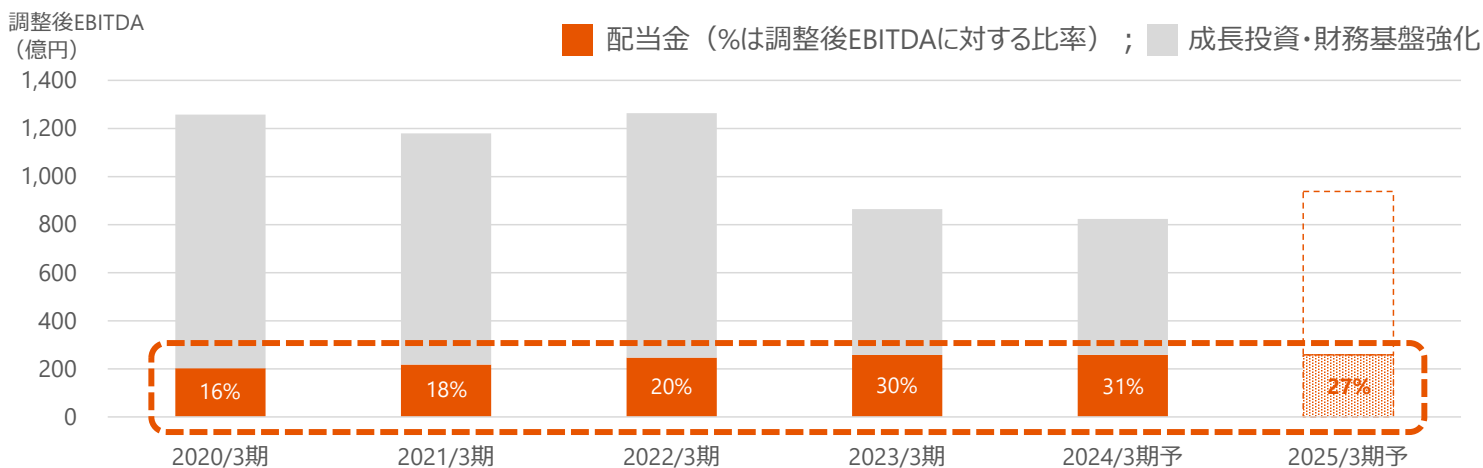
## 配当方針の変更

### 株主還元に関する考え方

当社は、期間収益並びにキャッシュフロー、内部留保、財務体質等の経営全般にわたる諸要素を総合的に判断の上、利益配分を決定することを方針としております。当社は、その時点でのキャッシュフローの状況を勘案し、財務体質の強化に加え、競争力強化を目的とした設備投資(新商品開発、合理化、IT投資等含む)等の成長投資を優先することを前提に内部留保の用途を決定いたします。株主還元については、長期にわたり安定した配当を実施することを基本とし、中期的なEBITDAの水準に基づき、年間配当金額を決定するとともに、自己株式の取得は機動的に行うことを方針としております。

### 2025年3月期 配当金予想

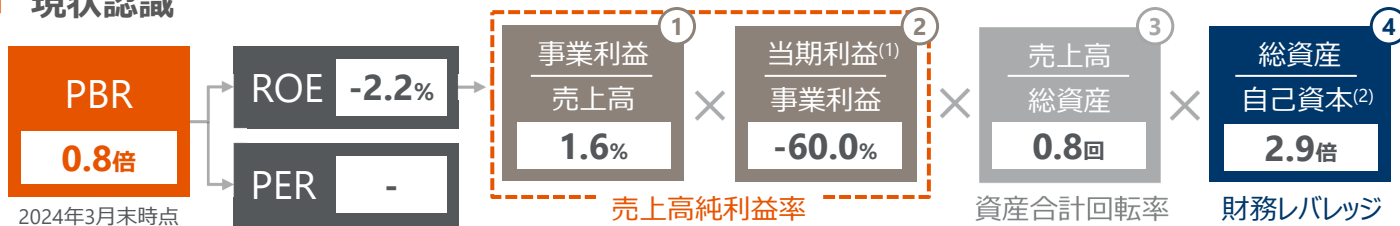
1株当たり配当金は、前期同額の年間90円（通期業績予想に基づき算出した調整後EBITDA<sup>(1)</sup>の27%）を予想



LIXIL (1) 調整後EBITDA：事業利益 + 減価償却費 (IFRSにおけるリース会計適用による現金の流出を伴う減価償却費の計上額の補正)

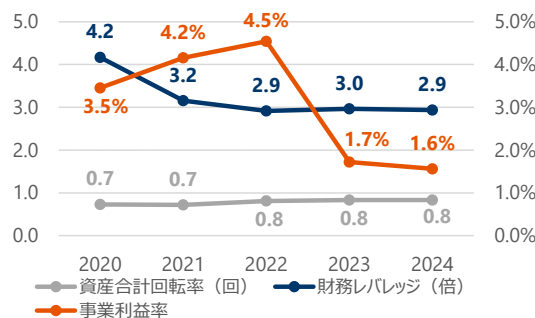
## 「資本コストや株価を意識した経営」の実現に向けた対応

### 現状認識



### 課題認識

- ① 事業利益率 ... 主に海外市場の需要低迷により利益率が悪化
- ② 当期利益率<sup>(3)</sup> ... 構造改革によるその他費用計上で悪化
- ③ 資産合計回転率 ... 過去から大きな変化なし
- ④ 財務レバレッジ ... 近年は概ね安定的



### 対策

- ① 事業利益率の改善 ... 価格適正化、アセットライト化、海外事業の収益性改善
- ② 構造改革の推進 ... 構造改革遂行後の効果最大化、適切な税務マネジメント
- ③ 資産効率の改善 ... 棚卸資産の削減、事業ポートフォリオの最適化
- ④ 適正な財務レバレッジ ... 適正な財務レバレッジ維持

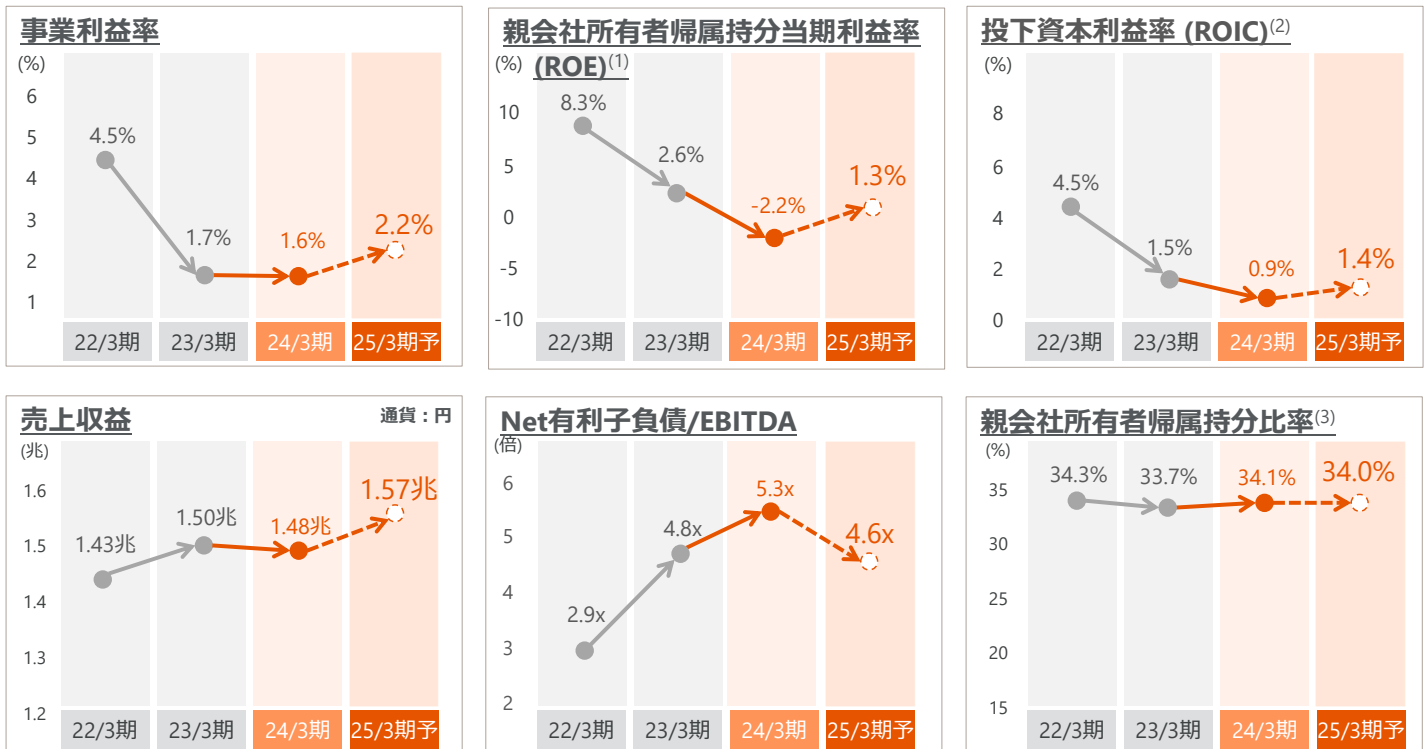


## 経営戦略の進捗・2025年3月期 通期業績見通し

16

## 財務指標の推移・2025年3月期 業績予想

今後も、財務体質の強化・収益性の向上を目指す



## 2025年3月期 業績予想 (全社)

増収増益<sup>(1)</sup>を計画。年間配当金90円を予定

(億円)	24/3期 実績	25/3期 業績予想	増減
売上収益	14,832	15,700	+868
事業利益	232	350	+118
営業利益	164	250	+86
税引前利益	67	150	+83
税金費用	-161	-70	+91
非継続事業からの損益	-52	0	+52
非支配持分に帰属する当期利益	-7	0	+7
親会社の所有者に帰属する当期利益	-139	80	+219
EPS (円)	-48.43	27.86 <sup>(2)</sup>	+76.29
ROE (%)	-2.2	1.3 <sup>(2)</sup>	+3.5pt
ROA (%)	-0.7	0.4	+1.1pt
ROIC (%)	0.9	1.4	+0.5pt
EBITDA <sup>(3)</sup>	1,045	1,185	+140
調整後EBITDA <sup>(4)</sup>	824	965	+141
Net debt/EBITDA <sup>(3)</sup>	5.3x	4.6x	-0.7
配当 (円/株)	90	90 <sup>(2)</sup>	-
配当金の調整後EBITDA <sup>(4)</sup> %	31%	27%	-

LIXIL

(1) 事業利益ベース

(2) 2024年3月31日現在の発行済み株式数 (自己株式数を除く) を使用

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

(4) 調整後EBITDA=事業利益 + 減価償却費 (IFRSにおけるリース会計適用による現金の流出を伴う減価償却費の計上額の補正)

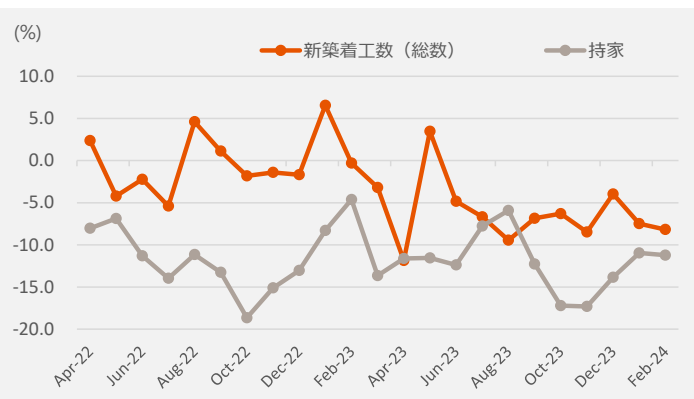
18

## 2025年3月期 業績予想 - 前提条件

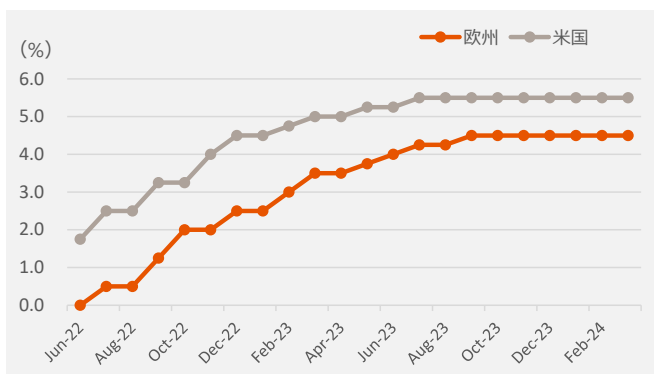
### 前提条件と参考指標

		24/3期 実績	25/3期 見通し
住宅着工 (千戸/YoY)	総数	808 <sup>(1)</sup>	808/0%
	リフォーム	+1.5% <sup>(1)</sup>	-1%
為替レート (平均レート)	円/米\$	144.4	150.0
	円/ユーロ	156.8	162.0
原材料価格 (万円/トン)	アルミ	33.5	40.0
	銅合金	100.9	109.6

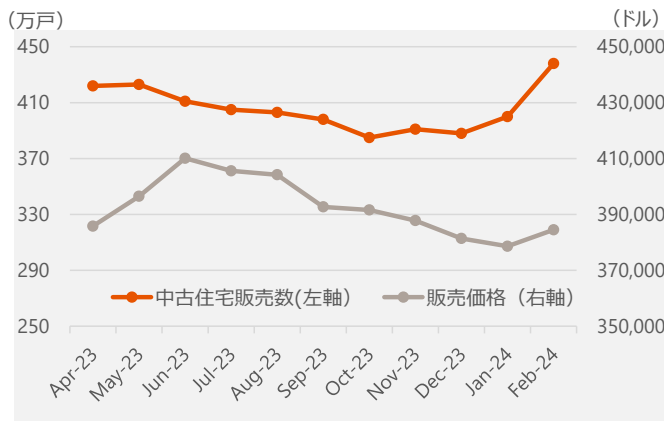
### 日本の新築着工数<sup>(2)</sup> (前年比)



### 欧州・米国の金利推移<sup>(3)</sup>



### アメリカの中古住宅市場<sup>(4)</sup>



LIXIL

(1) 2024年2月時点における見込

(2) 国土交通省資料よりLIXIL作成

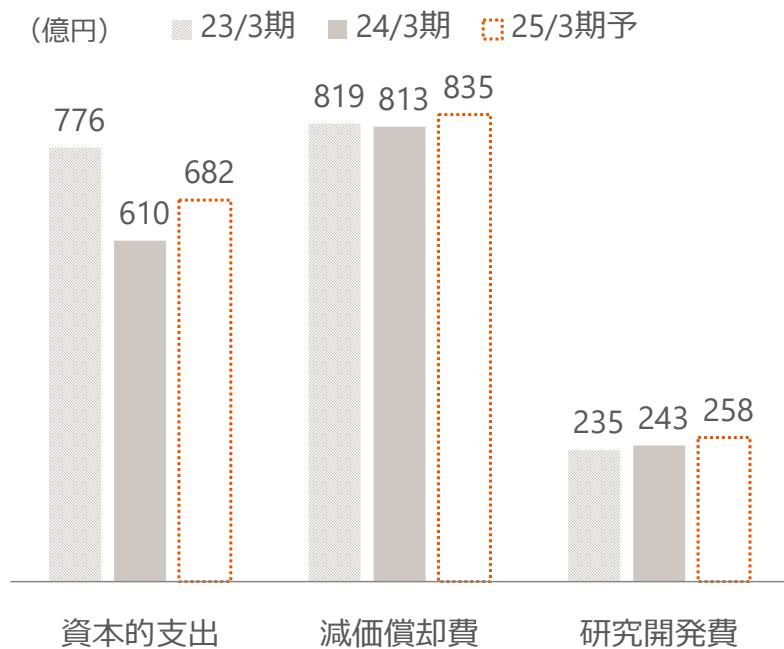
(3) Federal Reserve Board, European Central Bank資料よりLIXIL作成

(4) National Association of Realtors資料よりLIXIL作成

19

## 資本的支出・減価償却費・研究開発費<sup>(1)</sup>

投資効率の向上による、財務体質の改善と収益性の向上を両立を目指す



資本的支出の内訳

億円	23/3期	24/3期	25/3期予
IT投資	126	151	135
上記以外	650	459	547
資本的支出合計	776	610	682

減価償却費の内訳

億円	23/3期	24/3期	25/3期予
IT償却	123	115	137
上記以外	696	698	699
減価償却費合計	819	813	835

**LIXIL** (1) 非継続事業を除く。資本的支出・減価償却費には無形資産・IFRS16リースを含む

## セグメント別決算の概要



ウォーターテクノロジー事業 (LWT)



ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

## ウォーターテクノロジー事業 (LWT)

日本事業は増収減益、海外事業は需要の低迷の影響大きく減収減益

	(億円)	24/3期 実績	前年同期比		25/3期 業績予想
			増減	%	
日本	売上収益	4,205	+22	+0.5%	4,390
	事業利益	209	-41	-16.4%	210
	%	5.0%	-1.0 pt	-	4.8%
海外	売上収益	4,764	-205	-4.1%	5,190
	事業利益	18	-204	-91.7%	185
	%	0.4%	-4.1 pt	-	3.6%
LWT合計	売上収益	8,969	-184	-2.0%	9,580
	事業利益	227	-245	-51.9%	395
	%	2.5%	-2.6 pt	-	4.1%

### 売上収益

- **日本**：価格改定、及び、快適性の向上を目的としたリフォーム売上増加するも、新築着工数の落ち込みの影響を受け前年同期比で横ばい
- **海外<sup>(1)</sup>**：金利上昇・インフレ継続を背景とした需要低迷により、現地通貨ベース、円貨共に売上収益減少
- **海外売上比率**：前年同期比1.2pt減の53.1%

### 事業利益

- **日本**：新築向け売上減少による粗利減少を、価格改定と固定費削減でカバーしきれず、前年同期比、減益
- **海外<sup>(1)</sup>**：通期を通じた売上収益減少（主に欧州・米国）を主因として前年同期比、減益

LIXIL (1) 為替影響を除く前年同期比：売上収益 -630億円、-13%。事業利益 -230億円

22

## ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

地域別：マネジメントベース LWT海外合計：制度会計ベース <sup>(1)</sup> (億円)	24/3期 実績	前年同期比 現地通貨 ベース	25/3期 業績予想	前年同期比 現地通貨 ベース
アメリカ	1,731	-5%		+3%
欧州、中東、アフリカ地域	1,690	-17%		+6%
中国	429	-2%		+1%
アジア太平洋地域	518	-4%		+10%
連結調整・他	396	-		-
<b>LWT海外</b>	<b>4,764</b>	<b>-4%</b>	<b>5,190</b>	<b>+9%</b>

### ■ アメリカ

需要軟化により、現地通貨ベースで減収。円貨では増収

- ✓ 需要低迷継続により、現地通貨ベースで減収。需要減退により収益悪化
- ✓ 引き続き、商品・販売先構成のシフトならびにコスト削減施策効果による収益性向上に努める

### ■ 中国

不動産市況低迷、消費意欲低下により、現地通貨ベースで減収。円貨では増収

- ✓ 一部小売り向け販売促進によりカバーするも、需要の低迷は継続

### ■ 欧州、中東、アフリカ地域

需要軟化により、現地通貨ベース、円貨共に減収

- ✓ 高止まりする金利水準の影響により、欧州市場の大半で建設・住宅に対する投資活動が減退し、年間を通じた需要低迷により減収
- ✓ コスト削減施策効果による収益性向上に努める

### ■ アジア太平洋地域

地域により売上増減あり、現地通貨ベースで減収。円貨では増収

- ✓ インドは堅調な売上成長を継続、タイの収益は横ばい、ベトナムは需要低迷により苦戦

LIXIL (1) 制度連結会計 為替レート： 24/3期 4Q実績1USD=144.40円、1EUR=156.80円  
マネジメントベース為替レート： 24/3期 1USD=135.0円、1EUR=137.7円  
25/3期 前提1USD=150.0円、1EUR=162.0円

23

## ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

日本事業は、売上収益横ばいなるも大幅増益。海外事業も売上収益横ばいなるも増益

	(億円)	24/3期 実績	前年同期比		25/3期 業績予想
			増減	%	
日本	売上収益	5,707	-11	-0.2%	5,955
	事業利益	344	+156	+82.6%	365
	%	6.0%	+2.7 pt	-	6.1%
海外	売上収益	257	-7	-2.5%	275
	事業利益	14	+9	+190.7%	15
	%	5.6%	+3.7 pt	-	5.5%
LHT合計 <sup>(1)</sup>	売上収益	5,964	-18	-0.3%	6,230
	事業利益	359	+165	+85.4%	380
	%	6.0%	+2.8 pt	-	6.1%

### 売上収益

- 価格改定、及び住宅性能・快適性の向上を目的としたリフォーム向け売上増加なるも、新築向け売上低迷により前年同期比横ばい

### 事業利益

- 4Qにおいては、窓リフォーム補助金が端境期となった影響や新築着工数の更なる減少の影響あるも、通期ではコスト上昇に対応した価格改定により収益性を回復、さらに高性能リフォームサッシの販売好調によって大幅な増益を達成

LIXIL (1) 2024年3月期実績 (ご参考)

LHTビル事業除く 売上収益 4,966億円、事業利益 301億円、事業利益率 6.1%  
ビル事業売上収益 998億円、事業利益 57億円、事業利益率 5.7%

24

## （ご参考）データ集

## 商品・サービス別売上状況

国策を背景に「住宅サッシ」の売上が堅調。窓リフォーム対象商品の売上は昨年同期比3倍以上を達成。来期以降も需要の継続を見込む

セグメント	主要商品名	(億円)			(%)							
		23/3期 通期実績	24/3期 通期実績	前年 同期比 (%)	前年同期比							
					23/3期				24/3期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q					
LWT	衛生機器**	1,065	1,065	0.0%	+0.4	+6.7	+2.1	-2.1	-2.2	-3.7	+2.3	+3.0
	バスルーム	874	899	+2.9%	-2.4	+4.0	+1.3	+4.1	+3.0	+0.1	+3.6	+5.1
	洗面化粧台**	387	389	+0.6%	+1.8	-1.0	-1.7	-2.7	+0.7	-1.9	+1.7	+1.8
	キッチン	1,009	978	-3.0%	+0.3	-2.5	-2.1	+0.6	-5.2	-5.0	-1.0	-1.2
	タイル	319	313	-2.0%	-4.2	-1.2	-2.5	-2.7	-1.1	-0.8	-3.0	-2.9
LHT	住宅サッシ	1,655	1,854	+12.0%	-1.2	-2.1	-0.5	+7.8	+14.6	+22.8	+16.2	-5.6
	エクステリア	1,015	947	-6.7%	0.0	+3.2	+1.8	-4.5	-6.6	-7.1	-6.8	-6.3
	インテリア建材	627	587	-6.4%	+1.4	+7.8	+0.7	-6.7	-7.4	-9.2	-3.7	-5.4
	その他LHT	437	424	-3.0%	+17.0	+8.1	+2.8	+0.7	+1.8	+0.4	-2.3	-12.1
	ビルサッシ	957	998	+4.3%	+9.3	+13.3	+5.0	+2.0	+12.1	-4.9	+8.1	+3.7
	住宅・サービス事業	270	228	-15.9%	-4.8	-11.9	-7.9	-17.8	-9.5	-4.6	-29.3	-19.8
	海外売上 <sup>(1)</sup>	5,233	5,021	-4.0%	+11.3	+13.9	+9.3	+13.7	-5.8	-1.6	-5.3	-3.6
	その他・連結調整等	1,111	1,128	-								
売上合計	14,960	14,832	-0.9%	+4.2	+6.3	+3.4	+5.1	-0.3	+0.2	-0.1	-3.2	

(ご参考) \*\*「衛生機器」「洗面化粧台」に含まれる水栓金具の売上状況

LWT	水栓金具	24/3期 実績	前年 同期比	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
		247	+4.4%	-0.3	+3.4	-6.1	+4.1	+7.3	-0.7	+9.1	+2.2

LIXIL (1) 海外水まわり事業の商品別売上状況については、p.28参照

26

## 日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

リフォーム商材売上構成比2.7pt上昇。窓を中心とした断熱リフォーム需要の好調を背景に、LHTのリフォーム商材売上は前年同期比14%増

(億円)	通期				第4四半期 3ヵ月	
	23/3期 実績 <sup>(1)</sup>	24/3期 実績	増減	前年 同期比	24/3期 実績	前年 同期比
リフォーム商材売上	3,339	3,608	+269	+8%	834	+1%
LWT-J				+3%		+5%
LHT				+14%		-3%
ビル事業除く				+14%		-6%
ビル事業				+13%		+13%
リフォーム売上構成比	41%	44%	+2.7pt		42%	+1.5pt

### セグメント別リフォーム売上構成比

	23/3期	24/3期	増減
LWT	49%	51%	+1.6pt
LHT	34%	38%	+3.5pt
国内・計	41%	44%	+2.7pt

### リフォーム加盟店の推移

店	22年 3月	23年 3月	24年 3月
LIXILリフォームショップ (FC)	536	544	548
LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,264	11,224	11,173
リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	3,804	3,833	3,827

LIXIL (1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を選及修正

27

## 海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

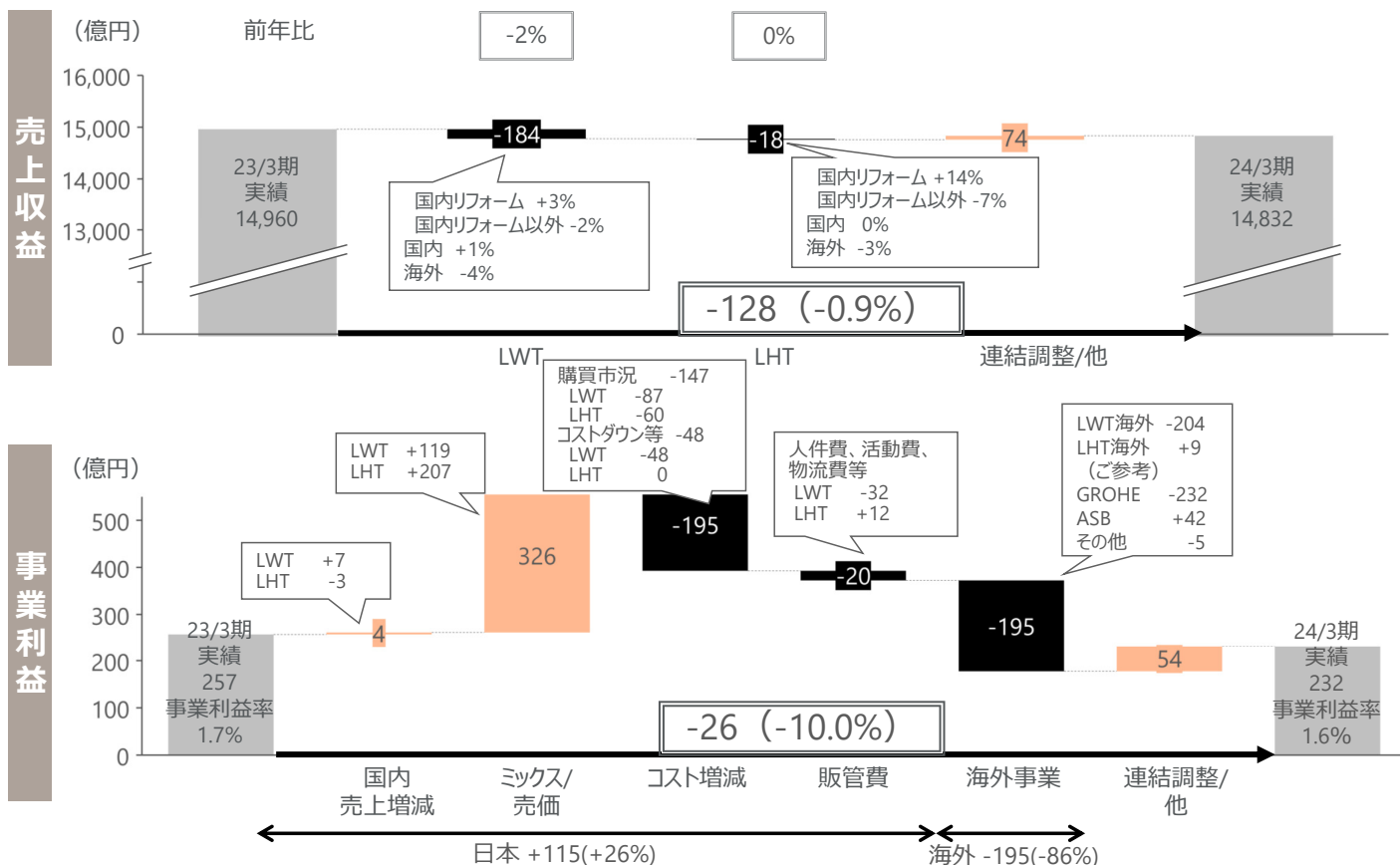
ブランド・ポートフォリオやグローバルな開発体制、差別化された商品の展開により、現地ニーズに迅速に対応し、海外事業の成長を促進<sup>(1)</sup>

	24/3期 通期					24/3期 第4四半期 3ヵ月				
	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域
<b>売上構成比</b>										
水栓金具 (浴室)	37%	12%	60%	46%	39%	38%	11%	60%	46%	39%
衛生陶器等	42%	54%	25%	42%	57%	42%	56%	24%	36%	57%
水栓金具 (キッチン)	8%	4%	13%	6%	2%	8%	4%	13%	7%	2%
浴槽・シャワーシステム	9%	23%	0%	1%	1%	9%	23%	0%	1%	1%
その他	4%	7%	1%	6%	1%	4%	7%	2%	10%	2%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
<b>売上伸び率</b>										
水栓金具 (浴室)	-18%	-14%	-22%	-12%	-1%	-13%	-22%	-16%	-7%	+10%
衛生陶器等	-4%	-4%	-9%	+6%	-4%	-11%	-7%	-29%	-7%	+8%
水栓金具 (キッチン)	-7%	-9%	-8%	+7%	-15%	-8%	-25%	-6%	+35%	-22%
浴槽・シャワーシステム	-15%	-15%	-15%	+17%	-26%	-23%	-23%	-0%	+138%	-25%

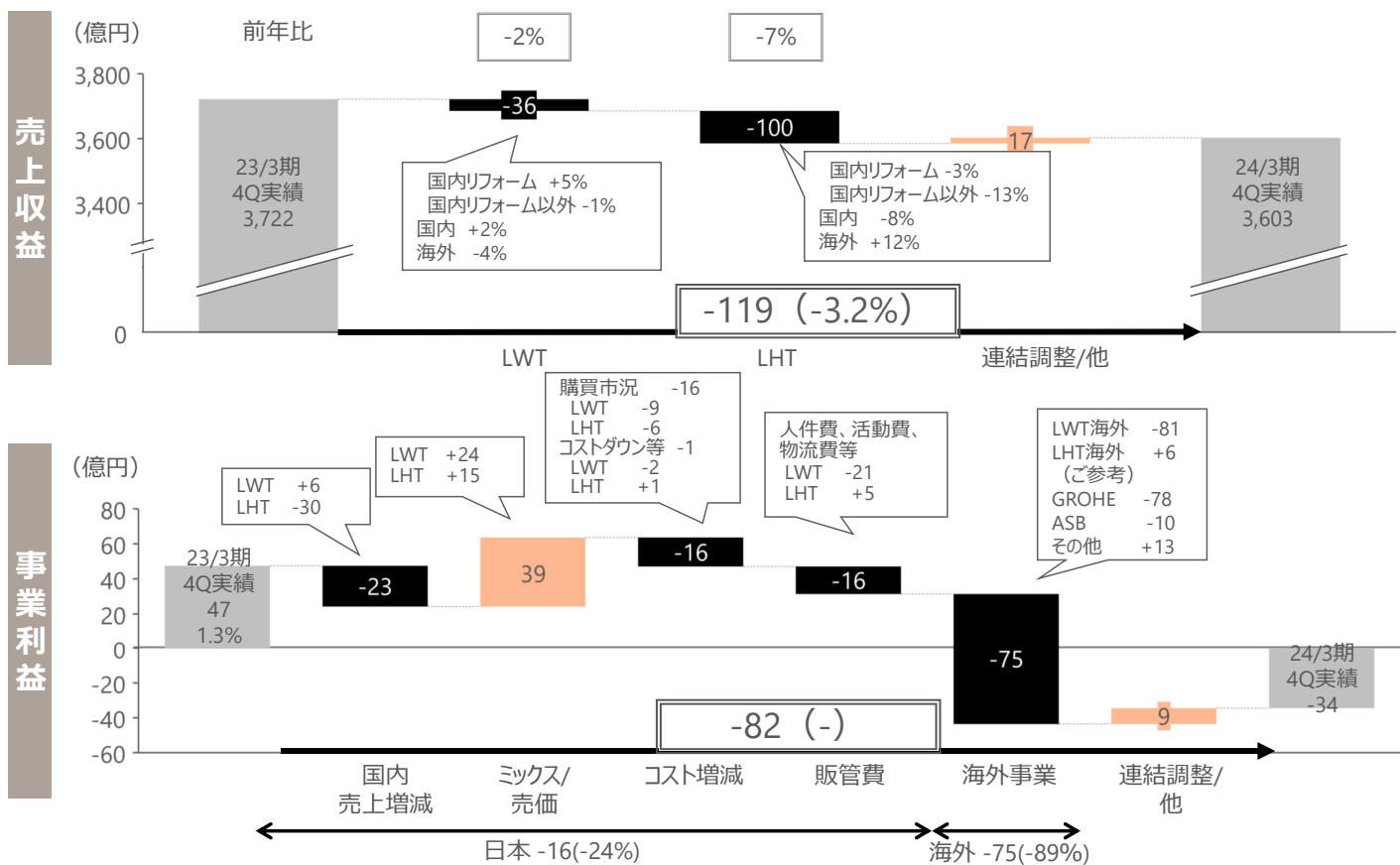
LIXIL (1) 統合報告書2023 p.33、43-44「LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』」  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym37/137629/00.pdf#page=34](https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_ym37/137629/00.pdf#page=34)

28

## 2024年3月期 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



## 2024年3月期 第4四半期（3ヵ月）売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

30

## 2024年3月期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

(億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	増減
売却目的で保有していた資産の処分益	53	22	-30
投資不動産処分益	1	64	+63
その他	44	51	+7
<b>その他の収益</b>	<b>98</b>	<b>138</b>	<b>+40</b>
有形固定資産処分損	20	16	-4
減損損失	28	46	+17
売却目的で保有する処分グループを売却コスト控除後の公正価値で認識したことにより発生した損失	-	11	+11
その他	58	133	+75
<b>その他の費用</b>	<b>106</b>	<b>206</b>	<b>+100</b>
受取利息	11	16	+5
受取配当金	14	11	-2
デリバティブ評価益	4	6	+2 (A)
その他	2	2	0
<b>金融収益</b>	<b>31</b>	<b>37</b>	<b>+5</b>
支払利息	54	101	+48
為替差損	26	26	-1 (A)
その他	3	5	+2
<b>金融費用</b>	<b>83</b>	<b>132</b>	<b>+49</b>

- その他の費用：構造改革関連費用含む
- 金融費用：金利上昇影響等により増加

(A)「デリバティブ評価益」は「為替差損」と両建てで表示されています。

24/3期 実績	
デリバティブ評価益	6
為替差損	-26
Net	-19 損

23/3期 実績	
デリバティブ評価益	4
為替差損	-26
Net	-22 損

LIXIL

31



## セグメント別 実績及び通期業績予想

		23/3期 実績			24/3期 実績 <sup>(1)</sup>				25/3期 通期予想				
		日本	海外	計	日本	海外	計	前年同期比%	日本	海外	計	前期比%	
(億円)													
LWT	売上収益	4,184	4,969	9,153	4,205	4,764	8,969	-2.0%	4,390	5,190	9,580	+6.8%	
	事業利益	250	223	473	209	18	227	-51.9%	210	185	395	+73.9%	
	%	6.0%	4.5%	5.2%	5.0%	0.4%	2.5%	-2.6pt	4.8%	3.6%	4.1%	+1.6pt	
LHT	売上収益	5,718	264	5,982	5,707	257	5,964	-0.3%	5,955	275	6,230	+4.5%	
	事業利益	189	5	194	344	14	359	+85.4%	365	15	380	+5.9%	
	%	3.3%	1.9%	3.2%	6.0%	5.6%	6.0%	+2.8pt	6.1%	5.5%	6.1%	+0.1pt	
連結調整・他 <sup>(2)</sup>	売上収益			-175			-101	-			-110	-	
	事業利益			-409			-354	-			-425	-	
LIXIL <sup>(2)</sup>	売上収益	9,902	5,233	14,960	9,913	5,021	14,832	-0.9%	10,345	5,465	15,700	+5.9%	
	事業利益	438	228	257	553	33	232	-10.0%	575	200	350	+51.1%	
	%	4.4%	4.4%	1.7%	5.6%	0.7%	1.6%	-0.2pt	5.6%	3.7%	2.2%	+0.7pt	

**LIXIL**

(1) 従来LHTのみに帰属していた海外子会社の損益を、管理体系を見直し、LWTへの組替えを24/3期より実施。これにより同社の報告セグメントをLWTとLHTに変更。詳細はp.11ご参照

(2) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

32

## 主要海外子会社

ASB (ASD Holdings) (百万米ドル)	23/3期 実績	24/3期 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	134.95	144.40	-
売上収益	1,355	1,283	-5%
事業利益	-57	-24	-
事業利益率	-4%	-2%	-

決算期	23/3期 期末残高	24/3期 償却額	24/3期 その他 <sup>(1)</sup>	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	133.53	144.40	-	151.41
のれん <sup>(2)</sup>	247	-	1	248
無形資産 <sup>(2)</sup>	249	-7	0	243

Grohe Group (グロ-工) (百万ユーロ)	23/3期 実績	24/3期 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	141.24	156.80	-
売上収益	1,780	1,457	-18%
事業利益	189	23	-88%
事業利益率	11%	2%	-9.1pt

決算期	23/3期 期末残高	24/3期 償却額	24/3期 その他 <sup>(1)</sup>	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	145.72	156.80	-	163.24
のれん <sup>(2)</sup>	1,201	-	-6	1,195
無形資産 <sup>(2)</sup>	1,404	-11	0	1,393

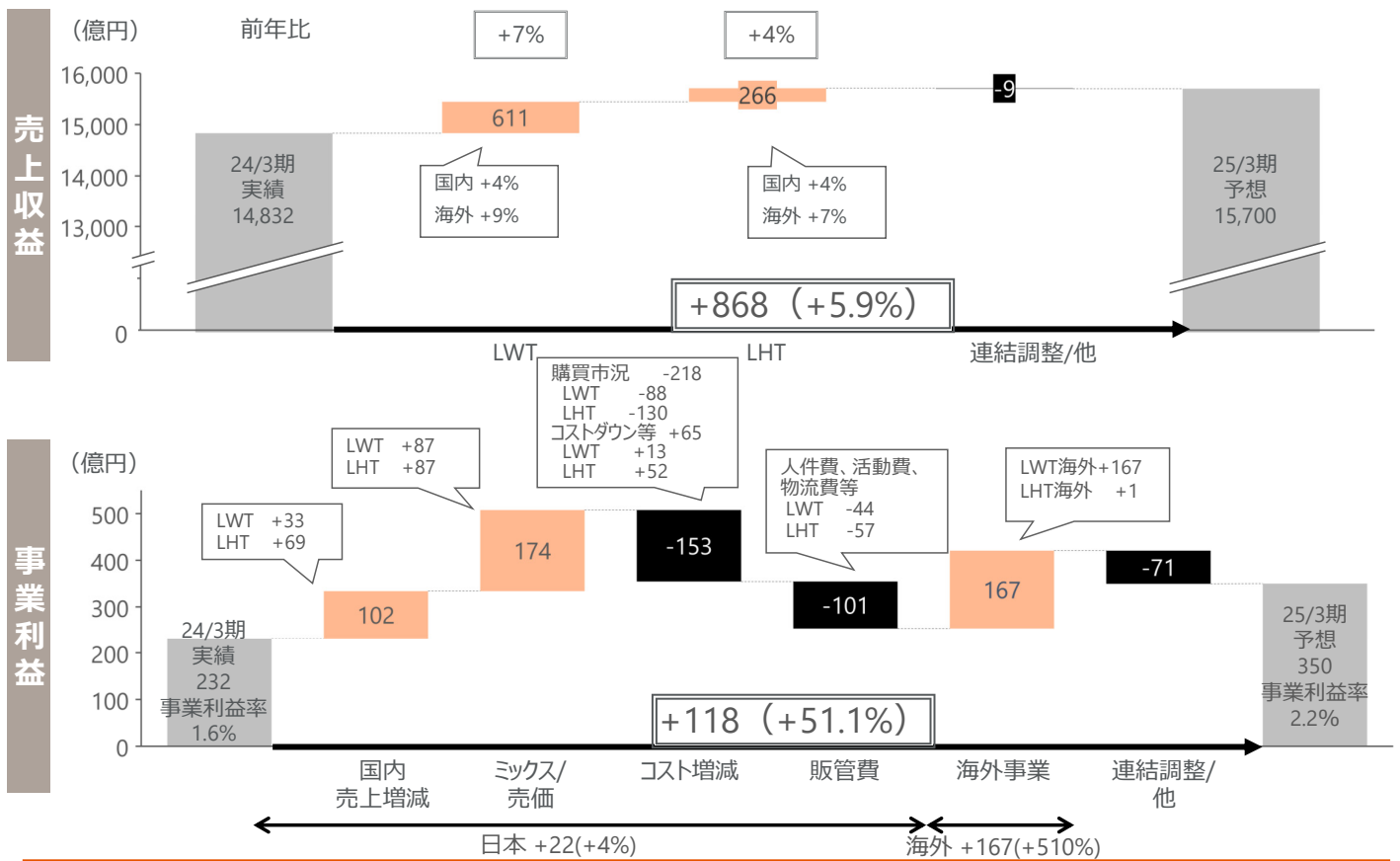
**LIXIL**

(1) 為替換算差額など

(2) のれん及びその他の無形資産とその評価については、2023年3月期 有価証券報告書 p.151-153「14. のれん及びその他の無形資産」に記載  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/youho\\_pdf/S100R0AV/00.pdf#page=151](https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/youho_pdf/S100R0AV/00.pdf#page=151)

33

## 2025年3月期予想 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

## (ご参考) 事業関連・ESG関連トピックス

## 役員体制の変更 (1)

(6月開催 定時株主総会後)

(3月25日発表)

取締役一覧 (◎は2024年6月新任、□は独立役員、下線付きは女性)

\*: 議長/委員長、●: 委員

	氏名	取締役会 議長	指名 委員会	監査 委員会	報酬 委員会	ガバナンス 委員会
社内 取締役 (1)	瀬戸 欣哉					
	<u>ファ・ジン・ソン・モンテサーノ</u> (Hwa Jin Song Montesano)					
社外 取締役	□ 青木 淳		●		*	●
	□ 石塚 茂樹			●	●	●
	□◎ 大堀 龍介		●	●		●
	□ <u>金野 志保</u>			●		●
	□ <u>田村 真由美</u>			●		●
	□ 西浦 裕二	*	●		●	●
	□ 濱口 大輔			*		*
□ 綿引 万里子		*		●	●	

LIXIL (1) 執行役を兼務

36

## 役員体制の変更 (2)

(6月開催 定時株主総会後)

### 新任取締役候補



大堀 龍介 (おおほり りゅうすけ)  
(1964年10月31日生)

#### 選任理由

大堀氏は、大手金融機関のアナリストとして、また外資系運用会社の運用責任者として豊富な経験を有しており、財務・市場分析、リスク管理に関する深い知見に加え、企業の情報開示に関する高い見識を有していることから、当社社外取締役としてその職務を遂行できるものと判断しております。

#### 略歴

1987年4月 野村証券株式会社入社  
1996年5月 JPMorgan資産運用部門 (現 JPMorgan・アセット・マネジメント) 入社  
2001年1月 同社 投資調査部長  
2009年1月 同社 JPM運用本部本部長 兼 日本株式チーフ・インベストメント・オフィサー  
2017年10月 一般社団法人機関投資家協働対話フォーラム理事 (現任)  
2020年6月 前田道路株式会社 社外取締役 (現任)

執行役一覧 (※は取締役を兼任、◎は新任、下線付きは女性)

氏名		役職
瀬戸 欣哉	※	代表執行役社長 兼 Chief Executive Officer
<u>ファ・ジン・ソン・モンテサーノ</u> ( <u>Hwa Jin Song</u> <u>Montesano</u> )	※	代表執行役専務 人事・広報・渉外・ Impact戦略担当 兼 Chief People Officer
金澤 祐悟		執行役専務 Marketing・Digital担当 兼 Chief Digital Officer
ビジョイ・モハン (Bijoy Mohan)		執行役専務 LIXIL International担当
吉田 聡		執行役専務 LIXIL Housing Technology (LHT) 担当
大西 博之		執行役専務 LIXIL Water Technology (LWT) Japan担当
君嶋 祥子		執行役専務 法務・Compliance・内部監査担当 兼 Chief Legal and Compliance Officer
藤田 真理子	◎	執行役専務 経理・財務・M&A・IR担当 兼 Chief Financial Officer

LIXIL

38

## 事業・ESG関連トピックス

### 脱炭素・資源循環型社会への貢献

#### 循環型低炭素アルミ型材PremiAL 導入事例拡大、生産体制強化



- 「PremiAL R70」導入事例
  - ✓ 大成建設グループ次世代技術研究所にて採用<sup>(1)</sup>
  - ✓ セブン-イレブン店舗にて採用<sup>(2)</sup>
- 「PremiAL R70」採用により、新地金100%のアルミ型材を使用した場合と比較し、原材料調達・輸送・生産までのCO<sub>2</sub>排出量を約55%削減<sup>(3)</sup>
- 需要拡大に伴い、生産拠点を国内外5工場に拡大

### 製品を通じたCO<sub>2</sub>排出量削減への寄与

#### 再配達削減につながる 玄関や門のファサード商材を発売<sup>(4)</sup>



- 物流業者による再配達削減につながる宅配ボックス付き「機能門柱シリーズ」に新たに4種類のラインアップを追加
- 豊富なカラーラインアップとバリエーションで、様々な住宅と調和
- 本年4月以降の「物流の2024年問題」へ対応し、再配達削減に伴いCO<sub>2</sub>排出量も削減

LIXIL

(1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2024031301>  
 (2) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2024031501>  
 (3) LIXIL調べ

(4) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2024020102>

39

## 事業・ESG関連トピックス

### イノベーションによる 豊かで快適な住まいの実現

#### 自ら掃除してキレイが続くタンクレストイレ 「SATIS X」新発売<sup>(1)</sup>



- トイレ掃除の負荷を軽減し、ゆとりある暮らしを目指す新発想トイレを開発
- “目に見える汚れ”と“見えない汚れ”を自ら洗浄する[極みトリプル水流]や[泡クリーン]機能を搭載
- 水まわり・タイルの国内事業が100周年を迎え、革新的な技術と知見を礎にイノベーションを創出

### イノベーションによる 水の持続可能性を追求

#### Tuck<sup>(2)</sup>とLIXILのイノベーション プログラムからビジネスを創出<sup>(3)</sup>



- LIXILブランドのHydrificが最先端のスマートウォーター製品、「Droplet」を米国で発売
- 家庭の水使用量をモニターし、水の効率的な利用に貢献。インフレで高騰する米国の水道料金節約に寄与
- キックstarterを活用したクラウドファンディングを開始。当初の目標金額をはるかに上回る資金を確保

LIXIL (1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2024030601>  
(2) 米国ダートマス大学タックススクールオブビジネス  
(3) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2024031502>

## 事業・ESG関連トピックス

### グローバルな衛生課題の解決

#### Reinvented Toilet技術の実用化に向け、 初となるライセンス契約を締結<sup>(1)</sup>



- ジョージア工科大学、ビル&メリンダ・ゲイツ財団との連携による、革新的なトイレ技術の製品化へとさらに前進
- 「第2世代再発明トイレ（G2RT: Generation II Reinvented Toilet）」は従来型のトイレと異なり、下水処理設備などのインフラや浄化槽が不要
- 従来型の衛生設備が利用できない地域における衛生環境の改善に向けて取り組みを推進

### D&Iの取り組みに対する外部評価

#### グローバル人事戦略の推進により 多数の外部評価獲得

経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「なでしこ銘柄」に8度目の選定（2024年3月）



Equileapが発行するGender Equality Global Report and Ranking 2024において、日本企業上位10社に選出（2024年3月）



Morningstar社の「日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）」の構成銘柄に、最上位グループ「グループ1」として2年連続選定（2024年1月）  
免責事項は当社ウェブサイト<sup>(2)</sup>をご参照ください。



経済産業省ならびに日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人」において2年連続「ホワイト500」に選定（2024年3月）



上記以外の外部評価については次ページ参照

LIXIL (1) ニュースリリース [https://newsroom.lixil.com/ja/20240321\\_g2rt](https://newsroom.lixil.com/ja/20240321_g2rt)  
(2) 当社ウェブサイト 社外からの評価・表彰 <https://www.lixil.com/jp/about/evaluation.html>

## 外部評価

### MSCI ESG Ratings

MSCI ESG格付けにおいて、  
2年連続最高評価「AAA」を獲得  
(2024年3月)

免責事項は当社ウェブサイト<sup>(1)</sup>をご参照ください。



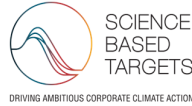
### S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの  
「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」の  
構成銘柄に選定  
(6年連続、2023年7月)



### Science Based Targets initiative (SBTi)<sup>(2)</sup>

日本の建材業界初、SBTiによる  
LIXIL2050年長期ネットゼロ  
目標の認定取得 (2024年3月)



### MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成  
銘柄に選定 (7年連続、2023年6月)

免責事項は当社ウェブサイト<sup>(1)</sup>をご参照ください。

2023 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

### CDP2023<sup>(3)</sup>

CDP「気候変動」分野において  
最高位となるAリスト評価  
(2024年2月)



### FTSE Russell Indexes<sup>(4)</sup>

FTSE Russell社の「FTSE Blossom Japan Sector  
Relative Index」(2年連続)、「FTSE4Good Index  
Series」「FTSE Blossom Japan Index」(7年連続)の  
構成銘柄に選定 (2023年6月)



### Dow Jones Sustainability Indices

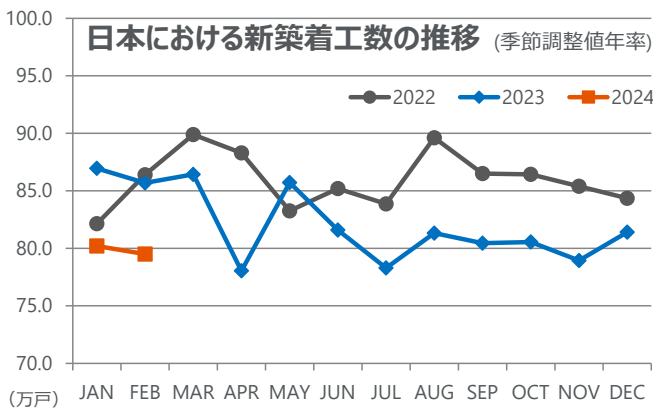
S&P Global社の「DJSI World」  
(5年連続)、「DJSI Asia Pacific」  
(7年連続)の構成銘柄に選定  
(2023年12月)



LIXIL <sup>(1)</sup> 当社ウェブサイト <https://www.lixil.com/jp/about/evaluation.html>  
<sup>(2)</sup> ニュースリリース [https://newsroom.lixil.com/ja/20240403\\_sbt\\_netzero](https://newsroom.lixil.com/ja/20240403_sbt_netzero)  
<sup>(3)</sup> ニュースリリース [https://newsroom.lixil.com/ja/20240208\\_cdp](https://newsroom.lixil.com/ja/20240208_cdp)

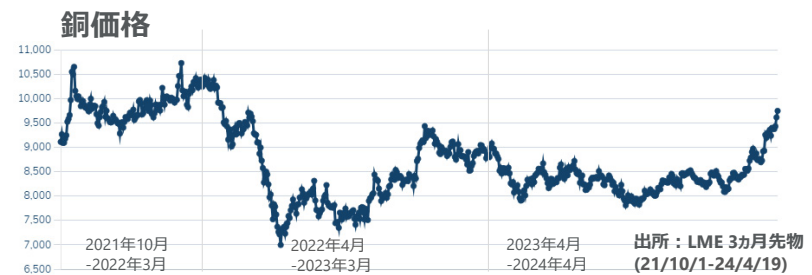
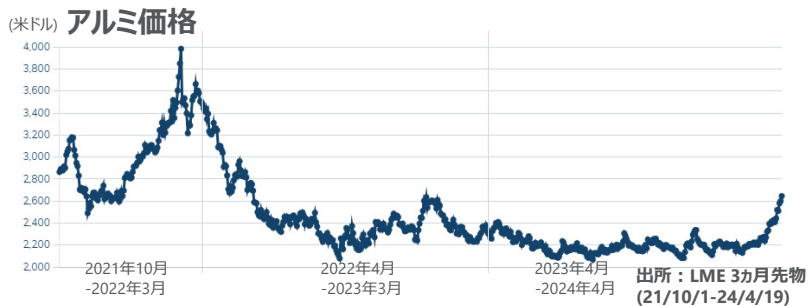
<sup>(4)</sup> FTSE4Good Index Series <https://www.lseg.com/ja/ftse-russell/indices/ftse4good/>  
FTSE Blossom Japan Index  
<https://www.lseg.com/ja/ftse-russell/indices/blossom-japan>

## 事業環境



### 新築着工水準 (対前年比)

- 2024/1-2： -7.8%
- 2023/1-12： -4.6%



	2023年1月-12月 (12ヵ月)		2023年4月-2月 (11ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	819,623	-4.6%	735,911	-6.5%
持家(1)	224,352	-11.4%	202,985	-12.0%
貸家	343,894	-0.3%	312,191	-0.8%
分譲マンション	107,879	-0.3%	91,264	-11.0%
分譲戸建(2)	137,286	-6.0%	123,502	-7.0%
戸建合計(1)+(2)	361,638	-9.4%	326,487	-10.2%

為替 (期中平均レート)	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 計画前提
米ドル	134.95円	144.40円	150.0円
ユーロ	141.24円	156.80円	162.0円

原材料価格の 実績	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	39.2万円/トン	33.5万円/トン	40.0万円/トン
銅合金価格	98.9万円/トン	100.9万円/トン	109.6万円/トン



この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。  
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により  
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE  
世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現